

<b>留 学 報 告 書</b>
------------------

記入日:2020年5月22日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: メンフィス大学 現地言語: The University of Memphis
留学期間	2019年8月～2020年4月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	2年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2020年4月24日
明治大学卒業予定年	2022年3月
<b>留学先大学について</b>	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:8月下旬～12月中旬 2学期:1月下旬～5月上旬 3学期: 4学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	約21,000人
創立年	1912年

留学費用項目	現地通貨 ( )	円	備考
授業料		0円	
宿舍費		約800,000円	
食費		約180,000円	自炊
図書費		0円	
学用品費		約2,000円	
携帯・インターネット費		約24,000円	海外SIM
現地交通費		約40,000円	Uber代( <input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		約45,000円	教科書代(レンタル)
被服費		約50,000円	冬服は現地で購入
医療費		約3,000円	ツベルクリン検査
保険費		80,000円	形態:明治大学の保険
渡航旅費		223,180円	
ビザ申請費		約39,000円	
雑費		約10,000円	生活用品
その他		円	
その他		円	
<b>合計</b>		約1,496,180円	

## 渡航関連

## 渡航経路

往路 出発地:成田 目的地:メンフィス 経由地:ダラス・フォートワース

復路 出発地:メンフィス 目的地:羽田 経由地:デトロイト、シアトル

## 渡航費用

①往復チケットを購入した場合

航空会社: \_\_\_\_\_

料金: \_\_\_\_\_

②片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社:アメリカン航空 料金:145,820 円

復路 航空会社:デルタ航空 料金:77,360 円 ∴合計:223,180 円

## 航空券購入方法

旅行代理店(店名: \_\_\_\_\_)  インターネット(サイト名:Skyscanner)  その他( \_\_\_\_\_ )

## 滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)

学生寮(寮の名前: Carpenter Complex)  アパート  ホームステイ

2)部屋の形態

個室  相部屋(同居人数 \_\_\_\_\_)

3)共有部分

バス  トイレ  キッチン( 自炊可  自炊不可)

4)住居を探した方法:

大学の housing application フォームから

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

現地のアメリカ人生徒 3 人と日本人留学生 1 人の合わせて 5 人で一つの建物に住んでいました。キッチンの使い方やエアコンの温度設定など若干合わないこともありましたが、直してほしいことははっきり言葉にして話し合っ解決することが大事だなと思います。

## 現地情報

1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院, 学内の診療所)

なし  
 あり(治療を受けた場所: \_\_\_\_\_)

2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例:留学先大学の相談窓口, 現地の友人等)

なし  
 あり(問題の内容や相談した人等:新型コロナウイルス感染症拡大による留学期間の変更などを両親に相談しました。)

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

外務省や総領事館からのメールや現地の友人から情報を得ていました。

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

大学の Wi-Fi を利用していました。寮でもインターネットの接続状況は良好で、問題なく利用できました。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

主にデビットカードを使用していました。他に 2 枚のクレジットカードを持参し、寮費の支払いなどまとまったお金を払うときに使い分けしていました。

6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

Uber 代の支払いなどで友達と割り勘することがよくあり、現金が不足しがちでした。5 万円ほど予め両替して持つていくといいと思います。他に、洗濯ネット、ヒートテックやカイロなどを持って行った方がいいです。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)	
1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
26 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他( ) ・履修の制限はありましたか? オンライン授業は基本履修不可でした。	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Oral Communication	オーラルコミュニケーション
科目設置学部・研究科	コミュニケーション
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 85 分が 2 回
担当教授	Sally French Paulson
授業内容	スピーチとプレゼンテーションの上達を目標に、教授が教科書に沿ってポイントを説明し、2週間に一回スピーチまたはプレゼンテーションを行いました。
試験・課題など	課題は、期日までにスピーチやプレゼンテーションのパワーポイントを作成すること、試験はマーク式で行われました。
感想を自由記入	アメリカ人の生徒は皆スピーチやプレゼンテーションが上手なので、とても勉強になりました。また、フレンドリーな生徒が多かったので授業前後に楽しくみんなで話すことができました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Intr/Women/Gender Study	女性およびジェンダー研究入門
科目設置学部・研究科	Interdisciplinary Programs
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式、ディスカッション(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 85 分が 2 回
担当教授	Melissa Bamford
授業内容	女性の権利やLGBTに関することを生徒同士のディスカッションも交えながら、講義形式で学びました。
試験・課題など	テストは選択問題と小論文で構成されていて、小論文で書く内容は予め知ることができました。毎週提出の約 1000 字のレポートがかなり大変でした。
感想を自由記入	毎週指定された文献を読んで書くレポートがとても大変でしたが、授業内容は一番面白かったです。デリケートな内容が多かったのですが、生徒それぞれが自分の意見をしっかり持って、とても良い刺激を受けました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Intro Modern Political Thought		現代政治思想入門	
科目設置学部・研究科	Political Science		
履修期間	秋学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式、ディスカッション(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 55 分が 3 回		
担当教授	Jeffrey Hardy Leedham		
授業内容	マキャベリの君主論や社会契約説などを講義形式で学びました。		
試験・課題など	中間と期末それぞれレポートと試験がありました。		
感想を自由記入	基本は講義形式でしたが、生徒が活発に質問したりするので色々な考えが聞けて面白かったです。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Yoga Stretching/Relaxation		ヨガ	
科目設置学部・研究科	School of Health Studies		
履修期間	秋学期		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	身体運動(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 55 分が 3 回		
担当教授	Arline Marie Jernigan		
授業内容	3 回に分けて、毎週新しいポーズを徐々に習得していきました。		
試験・課題など	毎週金曜日に 3 つのポーズが課題に出されます。週末に課題のポーズを実践し、習得した様子を写真に撮ってプリントアウトして提出します。		
感想を自由記入	月水金の朝の時間帯にやるのでとても良いリフレッシュになりました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Introduction to Sociology		社会学入門	
科目設置学部・研究科	Sociology		
履修期間	秋学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 85 分が 2 回		
担当教授	Graves E. Enck		
授業内容	講義形式で社会学について学びました。		
試験・課題など	中間テストと期末テストがありました。		
感想を自由記入	年配の教授だったので英語が少し聞き取りにくかったです。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Japanese Linguistics		日本語学	
科目設置学部・研究科	World Languages & Literatures		
履修期間	春学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 85 分が 2 回		
担当教授	Hironori Nishi		
授業内容	アメリカ人向けの日本語学の授業でした。教授は日本人ですが、授業は英語で行われ、言語景観や音声学など専門的な視点から日本語を学びました。		
試験・課題など	レポートと試験どちらも 2 回ずつありました。		
感想を自由記入	文法などは簡単ですが、言語学という視点から日本語を勉強している現地生徒と一緒に学べて良かったです。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Intro to Business		ビジネス入門	
科目設置学部・研究科	Management		
履修期間	春学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 55 分が 2 回		
担当教授	William J. Carr		
授業内容	ビジネスの仕組みなどの基礎を講義形式で学びました。		
試験・課題など	55 分の授業が週に 2 回なので、残りの1単位分は週末に出される課題とクイズで評価されました。		
感想を自由記入	少ない授業時間と週末の課題で構成されているので、進みが早くテンポ良くビジネス基礎を学びました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
General Psychology			
科目設置学部・研究科	Psychology		
履修期間	春学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 85 分が 2 回		
担当教授	Lela May Foxx		
授業内容	著名な心理学者から身体の仕組みまで心理学の基礎を講義形式で学びます。		
試験・課題など	中間レポートと選択型の期末試験で評価されます。		
感想を自由記入	心理学といっても様々な分野があるので、生物学的な内容も多く、神経の仕組みやホルモンの名前などを英語で覚え理解するのが難しかったです。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Survey of Media	メディア調査
科目設置学部・研究科	Journalism & Strategic Media
履修期間	春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式、ディスカッション(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に85分が2回
担当教授	Otis L. Sanford
授業内容	ラジオ、新聞、音楽、映画など様々な形態のメディアの歴史やその発展を講義形式で学びます。
試験・課題など	小レポートや簡単なクイズが各分野ごとにありました。
感想を自由記入	人数がかなり多い授業でしたが、教授の問いかけに対して様々な意見が飛び交ったりと日本ではあまり経験できないような授業でとても刺激的でした。
<b>卒業後の進路について</b>	
1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記2以降は記入不要)	
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:	
2)進路決定の際に活用したウェブサイト, 書籍, 機関など	
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。	
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。	
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。	
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備, 試験対策等)をお願いします。	
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。	

留学に関するタイムチャート
---------------

留学するまでの準備, 試験勉強, 留学中, 留学後, 特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例: 語学試験の勉強, 選考, 出願, ビザ申請・取得, 航空券購入, 予防接種, 滞在先の確保, 留学中の中間試験, 期末試験, その他イベント等

2018年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	TOEFL の勉強
10月～12月	TOEFL 受験、協定留学出願、面接
2019年 1月～3月	
4月～7月	留学の手続き、ビザの取得、航空券の取得
8月～9月	予防接種、出発、オリエンテーション、中間テスト
10月～12月	期末試験、冬休み
2020年 1月～3月	中間テスト、春休み
4月～7月	帰国、期末テスト
8月～9月	
10月～12月	

**留学体験記**

この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

この留学先を選んだ理由は、貧困問題などを研究したいと思っている中で、他の多くのアメリカの留学先と比べたときにアメリカの南部に位置し、黒人やアジア人の生徒の割合も高く人種問題や貧困などの問題に触れることができ、他の留学先では経験できないようなことを経験することができるかもしれないと思ったからです。実際に行ってみると、やはり時代は変わっていて、キャンパス内や街中で差別が起きていると感じたことはありませんでした。しかし、アメリカ人の友達に聞いてみると、アルバイト中に差別と言えるような経験をしたことがある子がいたり、自分でも実際にキャンパスから離れた治安が悪そうな区域に黒人がたむろしているのを目にしたなど、一概には言えないけれどこの国にもまだ見えない差別や貧困問題などがあるんだと痛感しました。留学を志した理由に英語が話せるようになりたいというのも一つの大きな目標でした。留学したての頃は毎日を過ごすのに必死で友達を作ったりするのに時間がかかりましたが、メンフィス大学には日本語学科があるので、日本語に興味がある、日本への留学を志している生徒がたくさんいたので、毎週金曜日のランゲージテーブルで日本語学科の学生と交流する機会を得てから仲良くなった友達の寮で料理をしたり、休日に遊びに出かけたりなどお互い助け合いながら貴重な友達を作ることができました。授業によっては膨大な量の課題が出たり、寮生活をする中でアメリカ人のルームメイトと合わない部分があったりとストレスに感じてしまうこともありましたが、そんな時に相談し合える同じ日本からの留学生の存在はとても心の支えになりました。私は色々な分野の授業を取ることができたので、授業が被ったりすることもあまりなく、日本人留学生とは良い距離感を保つことができたと思います。留学を志す上で大事なことは、留学を通して何を得たいのか、自分の中で一つの目標を掲げることだと思います。留学中は毎日目まぐるしく、新しい経験の連続で刺激的な日々でしたが、その中で自分の中で掲げた目標を見失わずに、それを達成するために何をすべきなのかを考えて過ごすことはとても大事なことだと思います。留学を経て得られることは間違いなく将来の糧になると思うので、日本にいただけでは経験できない、日本を外側から見てみることにぜひ挑戦してみてください。